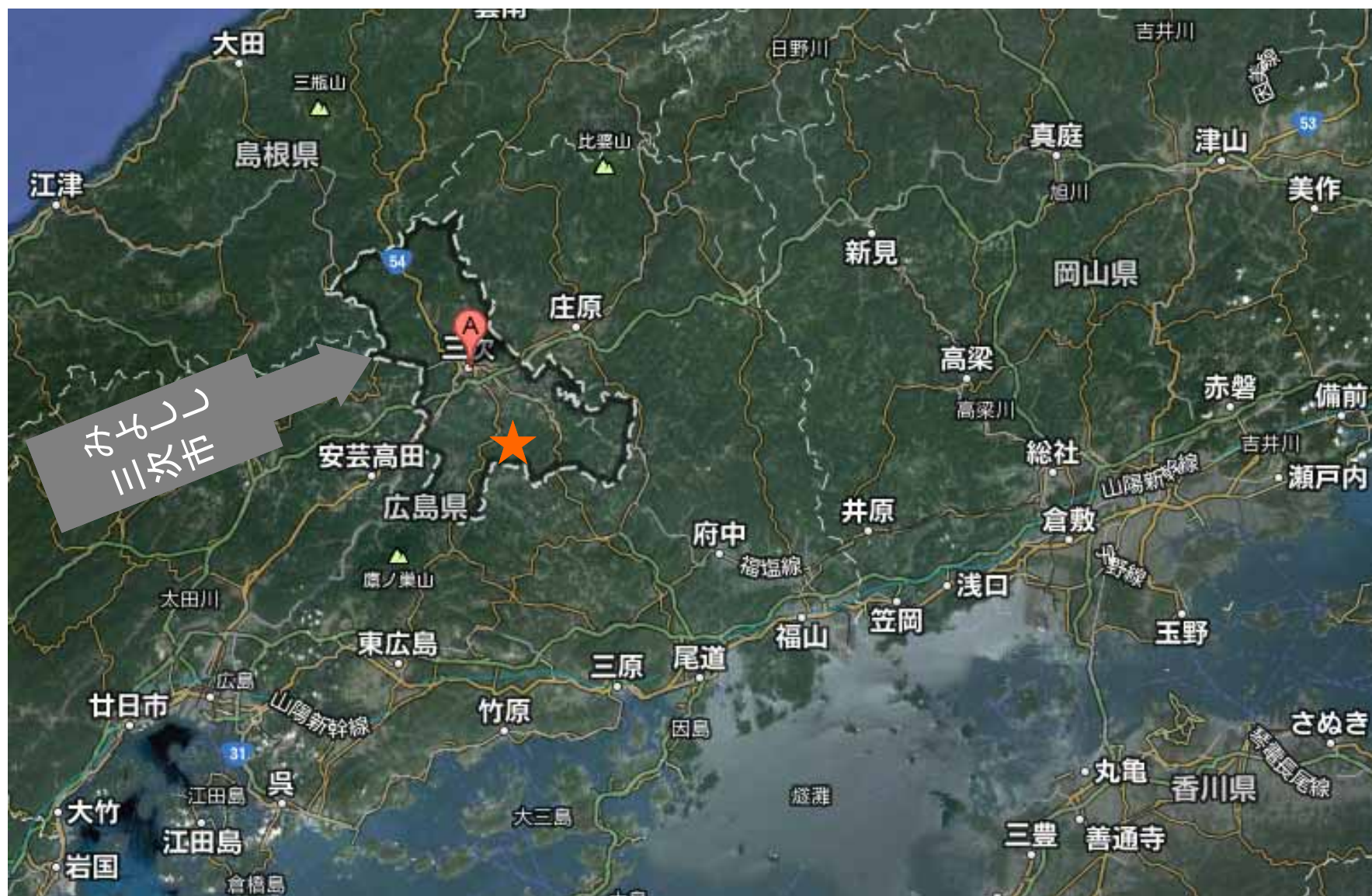




今、「体験する」ということ。
～ふるさと自然体験塾への想い～

ほしはら山のがっこう
ふるさと自然体験塾長 浦田 愛

のところから来ました。



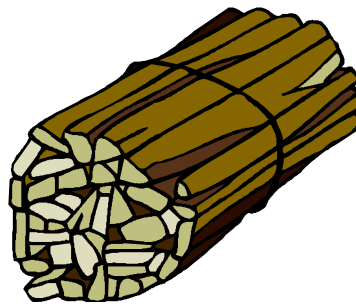


平田観光農園

平田観光農園

突然ですが

あなたは、
火を焚くことができますか。



これは実話です。

20歳。女子大生。

日帰りキャンプコンパに誘われる。



うふふ



うふふ



今日は
いちにち、
楽しみましょう～。



よろしく！



20歳。女子大生。

コンパで飯盒すいさんをすることに。

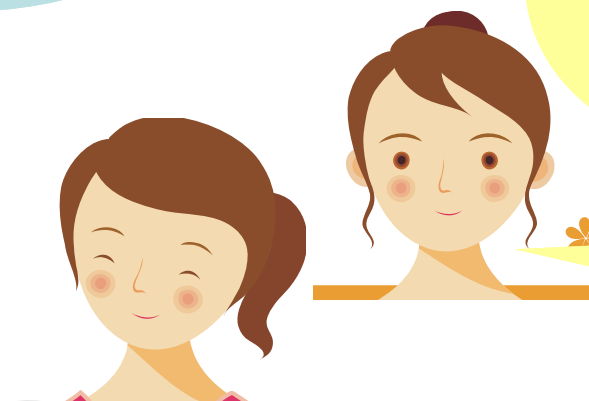
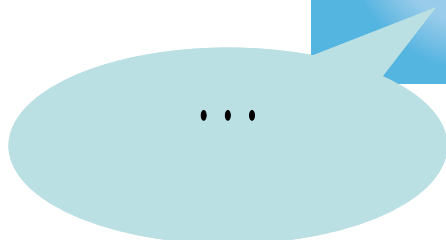
ガール
スカウト
出身



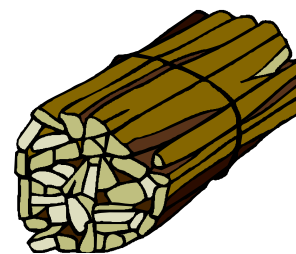
これ、どうやって
火をつければ
いいのかな～。

っていうか、
この刃物、
なに？

わかんない。
どうするう？



20歳。女子大生。
かわいい女子を演じるのはあきらめる。



出身
スカウト
ガール

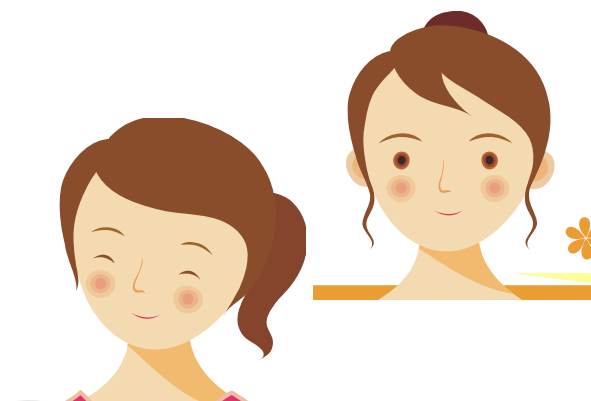


しかたないねえ、
かしてごらん！！

お～。
かっこえ～！

それ、
ナタって
いうんだ。

じゃ、わたし、
野菜切るね。





わたし

理想の男性は、
刃物が使えて、
火が焚ける人だ！！

どこにいる～。

そうだ！！
農村に行ってみよう。
そうだ！！
田舎が欲しいと思っ
ていたんだ。

自己紹介

1972年生まれ 福岡市中央区 出身

1995年 ノートルダム清心女子大学 家政学部児童教育学科 卒

卒業後、いなかには山村留学 --- 平田観光農園

そのまま、いなかにとどまることに

1997年 ふるさとに誇りを持つ子どもたちを育成する
「自遊人楽校」(週休2日のスタート)開校メンバーに

(有)元気になる遊びの会社

自然・子ども・今をテーマにした歌づくりや、
まちづくり等のテーマソングづくり

1998年 農家の長男と結婚、

翌年男児を出産(火を焚ける男に育てる)続けて女児出産

2003年 地域の小学校廃校になり、
ほしはら山のがっこう ふるさと自然体験塾スタート(塾長)



公益財団法人ひろしまこども夢財団 早寝早起き朝ごはん

突然ですが
第二段！！

畑から、大根を取ってくださいますか。

23歳。独身大卒女子。
山村留学で寝泊まりしている家のお母さんから
「大根を畑で取って来て」と頼まれた。



大根・・・
大根・・・
大根はどこ。



23歳。独身大卒女子。

畑に行ったけれど、手ぶらで家に帰ってきた。

あの～

畑に大根、
ありませんでした
よ



大根はいっぱい
あるわよ。
仕方ないわね…
いっしょに行くわ。



23歳。独身大卒女子。

再度、畑。

「ほら、大根ここにあるでしょ？」と言っても、大根が見えません。葉っぱをめくって、ようやく…

あ…大根だ。
大根って、葉っぱで
カクレンボしているんで
すね。



(キョロキョロ)
スコップは
どこですか？

(ふう…。)
じゃあ、
大根を2本くらい
取ってごらん。



絶句

23歳。独身女子。
生まれて初めて、畑に入り、野菜を収穫。
大根はスコップがなくても取れることを知った。



大根って、
葉っぱをまとめて
引っこ抜くんだ！
スゴイ！！



大学を卒業した
学歴があっても、
畑の大根一本取れないようじゃ～
ね…。



ふるさと自然体験塾は、

自然を生かし、また自然生かされた暮らしが、
今なお続いている
リアルな「農村」で、
リアルな体験を、
子どもたちや親子を中心に、
ぜひしてほしい！！

という思いと、

交流による活性化で、
ふるさとを未来につなぎたい

という思いで、行っています。

こんなことを
しています



2013.6.10広島ホームテレビ



おいしい 楽校 シリーズ

自給自足的な時間をわいわいすごそう。
地元の暮らしの達人が先生。





森づくり カフェ シリーズ



暗い森にこもれびをよぼう。のこぎりで森の木を切るんだよ。
切った木でなにをつくろう。ブランコ！いいねえ。
まきわりをして、たきぎづくり。しいたけの森もいい。
トムソーヤのぼうけんみたいな、ツリーハウスもつくりたい～い。
今日の作業がおわったら、アウトドアな森のおやつタイムだ♪



7泊8日
キャンプ
(共催)



廃校となった
校舎を拠点に
2003年
スタート！

ふるさと自然体験塾

運営資金

主に参加費

公募している助成事業

後援（申請）

三次市教育委員会

上田町内会ほか

参加者



ゲンチジン(リアルさ)
地元の住民有志



スタッフ・参加者の
まなびあう場

体験スタッフ

(ファシリ・つなぐ・編む)
自然体験研修/指導の
経験があるスタッフ
(広島県内から)



ガキ大将・リーダー・
フォロー
大学生ボランティア



専門講師



50年後の子どもたちに
つなぎたい
ふるさと

田んぼの泥に一度足を入れたことがあったら、
田植えのころの田んぼを見るだけで、
泥の感触を思い出すことができる。

そして、
田んぼを作っているおじいちゃんの
顔を思い出すことができる。

田んぼの横の川で
ドンコやカワムツ、カニやヤゴ、
トノサマガエルやおたまじゃくしを
つかまえたことがあったら、

小川を見ただけで、
川の中の生きものを、思い浮かべることができる。
その生きものの感触といっしょに。

畑で、きゅうりをもいだことがあったら、

きゅうりを見れば

きゅうりをもぐ時のチクチクや、花の黄色、

畑の土の感触を

思い出することができる。

食べ物は
おカネと引き換えに
手に入れるものではなくって、

だれかが作って
自然の恵みをうけて
だれかが収穫して、出来る大切なもの。

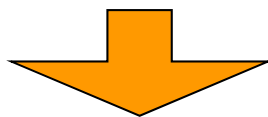
おカネは、フェアな役割分担をあらわすもので
あってほしい。

食べ物を選ぶ時、
ひとつひとつの食べ物が持っている
ものがたりを
思い浮かべることが出来る子どもたちを
育てたい。

ふるさとをまもるために。

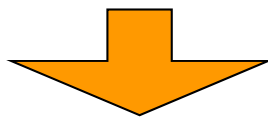
体験を通して、愛着ある「ふるさと」と出会う

田舎は、そこに住む人だけで、守ってきた。

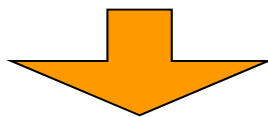


過疎化・高齢化・後継者不足・・・
ふるさとの景観・文化・技が失われそう！！

もったいない！



田舎は、みんなの心のふるさと。役割がいっぱい。



このままじゃ、将来が・・・！

田舎を守っていく新しい「しくみ」作り

これからの「田舎」について、みんなで考えよう！ふるさとを未来につなごう！

地元



共感の輪が
つむいでいく
「ふるさと」の
未来

「懐かしいふるさと」がここにはあります。
人・自然・暮らし・景観・・・大切に守ってきてく
ださった方々から引き継いでいく「ふるさと」。

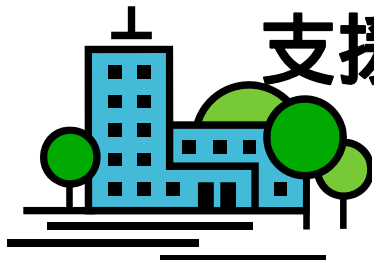
持続可能な
ふるさと

これからの時代、ますます「ふるさと」は大事
になっていきます。食、エネルギー、人間らし
い暮らし、教育など・・・「ふるさと」の場を守っ
ていくための支援をしていきます。

「ふるさと」に迎え入れてもらえて嬉しいです。私
たちも小さなことしかできないけれど、「ふるさと」
をつないでいくメンバーに入れてください。

交流者

支援



「シェア」「つながり」の時代---山村集落の子育て





50年後、100年後の子どもたちに
「ふるさと」をつなぎたい。
それは
「ふるさと」が大好きだから！！
大好きなものを守りたいと思う。

地元有志と応援団によるワークショップ

インフォメーション

Facebook でつながりましょう！！



会員募集中！！
ほしはら山のがっこう新聞(月1)
を送ります！！



野に生きる

うらたあい

野生を持って

海・山・川をみて

そこに棲むものたちの姿や匂い
四季の食べ物のありがた

心や身体に染みた人間になれ

石・木・水をみて

そこから暮らしを

創造できる手をもつ人間になれ

大地・空・瞳を見て

その喜びや悲しみの表現を

感じ取れる人間になれ

巨樹 & 里山を守るプロジェクト

[illegible]

みんなの
ふるさと

みんなのふるさとプロジェクト





